

明石市公共施設配置適正化実行計画の構成案について

第1章 実行計画の概要

- (1) 計画の位置づけ
- (2) 計画期間
- (3) 計画の策定経緯
- (4) 取組の推進体制

第2章 公共施設配置適正化の取組方針 ⇒ 内容は、基本計画から抜粋

- (1) 取り組みの基本方針（6つの原則）
 - ①施設総量の縮減、②機能重視への転換、③施設更新に優先順位、④公民連携の推進、⑤施設廃止による収入は更新費用に充当、⑥インフラはライフサイクルコストを縮減
- (2) 数値目標
施設総量を40年で30%、20年で15%縮減
- (3) 取組手法
施設の有効活用、建物の長寿命化、効率的な管理運営

第3章 個別施設の取組内容 ⇒ 計画のイメージは、2ページ以降に掲載

- (1) 実行計画期間内の取組の全体像
(実行計画の数値目標、取組効果の合計（縮減面積、縮減効果額など）)
- (2) 個別施設の取組内容
 - ア 施設の概要
 - イ 施設の分析・評価結果
 - ウ 市民意見の聴取結果
 - エ 取組手法
 - オ 実行スケジュール
 - カ 縮減効果（縮減面積・縮減効果額など）
 - キ 取組手法のイメージ図

〔個別施設の取組内容 掲載イメージ〕

行政系施設

①行政施設

■基本計画における施設種別ごとの方向性

対象施設単位	基本計画での方向性
A 施設	
B 施設	
C 施設	

■施設の分析・評価結果

A施設

A 施設は、・・・・・・・・。

B施設

B 施設は、・・・・・・・・。

C施設

C 施設は、・・・・・・・・。

■市民意見の聴取結果

A施設

A 施設は、・・・・・・・・。

B施設

B 施設は、・・・・・・・・。

C施設

C 施設は、・・・・・・・・。

〔個別施設の取組内容 掲載イメージ〕

■実行計画期間中における適正化手法

A施設

- A 施設は、平成 34 年度完成を目指して建替えを実施する。

B施設

- B 施設〇〇支所は、D施設の余裕空間の活用のため、平成 32 年度に移転する。
- ××支所は、周辺施設との複合化の実施可能性を引き続き検討する。
- 貸室部分については、受益者負担の適正化により、貸館料の変更を実施する。

C施設

- C 施設は、利用者数の固定化、減少傾向にあること、他施設でその機能を代替することが可能であることを踏まえ、廃止する。

■10年間での実行スケジュール及び事業費

【施設の有効活用】

取組項目	27～28年度	29～30年度	31～32年度	33～34年度	35～36年度
A施設の建替え	検討、他市事例の調査	計画策定 市民説明会	設計・建築	入居	跡地売却
事業費(百万円)	2	10	7,000	50	0
B施設の移転	D施設の受入改修	市民への 広報 移転・解体	—	—	—
事業費(百万円)	2	6	—	—	—
C施設の廃止	市民への広報	廃止・解体	—	—	—
事業費(百万円)	1	5	—	—	—

【効率的な管理運営】

取組項目	27～28年度	29～30年度	31～32年度	33～34年度	35～36年度
B施設の受益者負担適正化	受益者負担のあり方検討	B施設の貸館料変更	—	—	—
事業費(百万円)	0	0	—	—	—
運営体制の見直し	—	—	—	—	—
事業費(百万円)	—	—	—	—	—
維持管理費の縮減	—	—	—	—	—
事業費(百万円)	—	—	—	—	—

〔個別施設の取組内容 掲載イメージ〕

■第4期までの適正化の取組内容

施設名 実施期間	A 施設	B 施設	C 施設
平成 27～36年度 基本計画 (第1期)	<ul style="list-style-type: none"> サービスの見直しや施設のコンパクト化のほか、公民連携等多方面の検討を加えながら、更新に向けた調整を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の複合化等により、有効活用を行う。 機能移転等の検討を進める。 一部施設は移転し、建物を廃止する。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的がなくなるため、機能、建物とも廃止する。
37～46年度 (第2期)	<ul style="list-style-type: none"> 建替により、新しい施設において、サービスを展開。 	<ul style="list-style-type: none"> 機能の移転を終え、建物は廃止する。 	—
47～56年度 (第3期)	<ul style="list-style-type: none"> 他の施設との複合化等有効活用を進める。 	—	—
57～66年度 (第4期)	<ul style="list-style-type: none"> 建物の予防保全により、長寿命化を図る。 	—	—

〔個別施設の取組内容 掲載イメージ〕

■数値目標に対する縮減効果

①規模（面積・㎡）の縮減効果

総量縮減効果	▲〇〇（施設数）、▲〇〇〇㎡（縮減延床面積）、▲〇. 〇%（縮減率）
--------	------------------------------------

②コストの縮減効果

項目	効果見込額
建替え・改修	〇〇〇円
維持管理	〇〇〇円
施設運営	〇〇〇円
土地売却	〇〇〇円
合計	〇〇〇円

③総事業費（概算額）

項目	金額
施設解体費	〇〇〇円
改修費	〇〇〇円
国庫補助返還金	〇〇〇円
合計	〇〇〇円

※上表の数値データにつきましては、今後の調整により大幅に変更される場合がありますので、ご承知ください。

■適正化後の配置イメージ

取組内容のイメージを図示